

ともに
よりよく
生きる

自分らしく
あなたらしく

未来へつながる MOVEプラン

三芳町では非認知能力の重要性に着目し、子どもを主語にした授業や取組を
実践することで、学びに向かう力＝未来へつながる力を育てます

MOVEプランは3つのプロジェクト・8つの取組で構成しており、これまで進めてきた取
組も多く盛り込んでいます。この資料では、主な取組の内容をご紹介します。

自分とつながるプロジェクト

1 子どもを主語にする 授業づくり

やる気や協調性、コミュニケーション能力などのテストでは測れない「人の内面に関する力」を、「みよしの力」※1と定義し、授業をはじめとするあらゆる場面で非認知能力を育てます。

情報モラルとあわせて、デジタル社会の一員としてよりよく生きていくために
必要な能力を身に付けるための学習に取り組めます。

ICTをより日常的に使う授業づくりに取り組めます。



2 子どもと本をつなぐ 読書活動

タブレットに「読書通帳」の機能を持つシステムを導入し、
本と出会うきっかけをさらに増やし、豊かな読書体験につなげます。

3 誰一人取り残されない 3Aプラン ※2

教室に入ることが難しい子どものために、校内教育支援室「すてら」を中学校に設置します。
「すてら」にはサポーターを配置します。

各校の相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーに加えて、町の相談室に
心理士を定期的に配置します。発達に関する検査についてより多くのニーズに対応します。

タブレットを使った「心の健康観察」の導入、定期的なアンケート調査の実施など、子どもの
メンタルヘルスの変化への対応に取り組めます。

※1 三芳町で育てる非認知能力のグループを定義したもの **み**んなでつながる力、**よ**りよく生きようとする力、**し**んげんに自分と向き合う力 の頭文字

※2 三芳町教育センターを中心として関係各所が連携し、誰一人取り残されない教育を推進する取組 **A**nyme-誰もが-, **A**nytime-いつでも-, **A**nwhere-どこでも-, の頭文字

社会とつながるプロジェクト

4 産官学民と共創する 授業づくり

地域・団体・企業等のご協力を得て、実社会につながる総合的な学習の時間をつくるため、
自分たちで課題を発見し、解決する力を身に付ける探究的な学びに取り組めます。

実技教科(音楽、美術、技術等)を軸とした教科横断的な学習(STEAM教育)に
取り組めます。

5 特色ある体験活動

世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の学習を充実させます。

共生社会の実現に向けた福祉教育を推進します。



世界とつながるプロジェクト

6 確かな英語力を支える グローバルアクション

英検補助の拡充、対策講座、町内準会場の設置に取り組めます。

7 国際感覚を育む 国際交流

マレーシア中学生海外派遣等の国際交流を実施します。

8 町の誇りを継承していく 伝統文化・芸術文化

歴史民俗資料館等と連携した伝統文化・体験活動への取組や
芸術文化に関する取組を充実します。

